

令和4年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」  
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	階段式水冷ストーカ炉を採用した熱電併給用ボイラ設備
型番	
会社名	株式会社タクマ
本社所在地	兵庫県尼崎市金楽寺町二丁目2番33号
会社WEBページURL	https://www.takuma.co.jp/
製品紹介ページURL	https://www.takuma.co.jp/product/energy/index.html

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社タクマ エネルギー本部プラント1部2課 熊本 裕成 電話番号：03-5730-9023 e-mail:k-h-9691@takuma.co.jp
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業	F. 電気・ガス・熱供給・水道業	
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス、自家発電プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	3999	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	10.0	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	10.0	%	
導入事例における費用対効果（年間）	10.0	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	4,000,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	150,000,000	円/年	

製品・システムの概要

本設備は、従来は困難であったRPF（廃プラスチック固形燃料）と木質廃材等の多種多様なバイオマス燃料の混焼を可能とした、バイオマス熱電併給用ボイラ設備であり、燃焼器、ボイラ及びその付属設備（ファン他）にて構成しています。

燃焼器は、燃料の混焼割合の対応幅が広い階段式水冷ストーカを採用しております。

化石燃料を使用している既存設備から本設備へ更新することで化石燃料使用量を削減するとともに、非化石エネルギーの利用割合向上に大きく貢献する設備である。

※上記の登録情報は汎用モデルで、蒸発量70t/hの設備をベースとした、階段式水冷ストーカ炉ボイラ及びその付属設備を対象としています。土木建築工事、範囲外設備の機械据付、電気計装工事等の費用は含みません。

実際は、蒸発量（蒸気条件含む）、設備仕様、立地、サイト条件、導入時期、その他諸条件により変動いたしますので、ご計画の際は実際の条件に合わせた最適なご提案をさせていただきます。

先進性についての説明

本設備は、独自開発したバイオマス階段式水冷ストーカ式ボイラ熱電併給用設備です。以下の特徴を有しており、水冷ストーカを用いて燃料種の多様性、省エネ性、耐久性が向上します。

- 従来のストーカは、火床面を構成する火格子（空冷火格子）は下から供給される1次燃焼空気により冷却されているが、本設備は特許取得の水冷火格子（冷却水による直接冷却方式）を採用する事で、耐用年数を従来の5倍以上に向上させている。
  - 燃焼空気の押込通風機の動力を軽減すると共に、低空気燃焼を行うことにより排ガス量を低減でき、ボイラ効率向上、設備のコンパクト化、所内動力の低減ができ、ボイラ設備全体の所内動力を低減できる。
  - 流動層形式のボイラと比較しても大幅に所内動力を改善できる。
  - 水冷火格子は、低カロリーから高カロリーまで広範囲の燃料（低位発熱量：5～25MJ/kg）に対応できる為、発熱量の高い建築廃材チップやRPF等の専焼および混焼はもとより、発熱量の低いバイオマス燃料の混焼も対応可能である。
- さらに高塩素RPF燃料による伝熱面付着のダスト腐食軽減のため特許取得の圧力波式ボイラダスト除去装置（VSPS）で対応済みであり、成果を挙げている。

